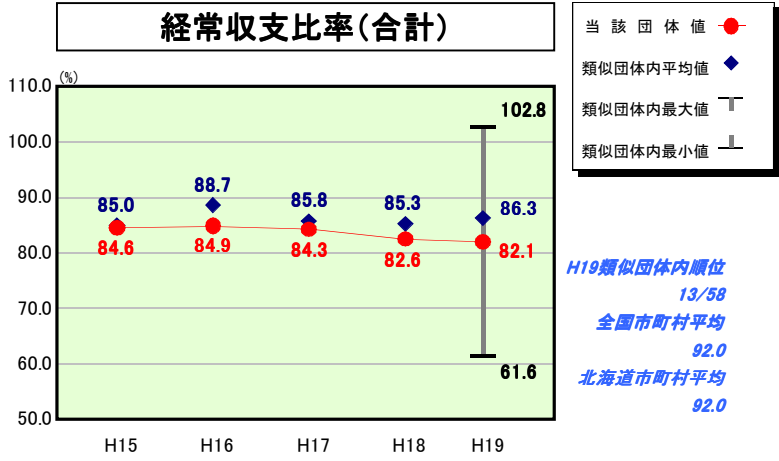


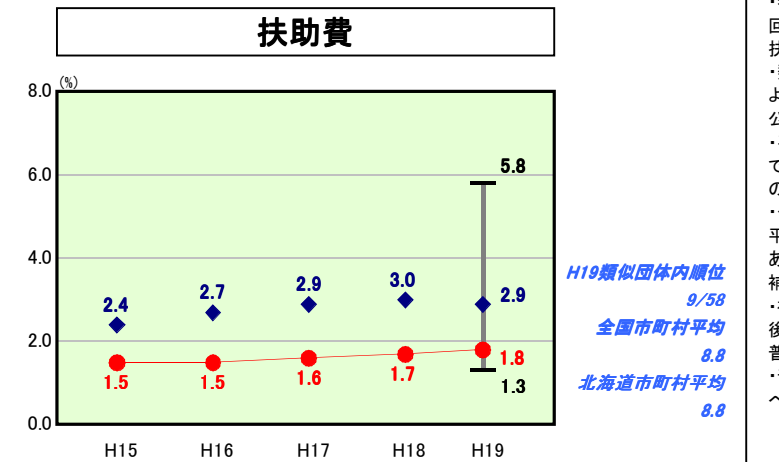
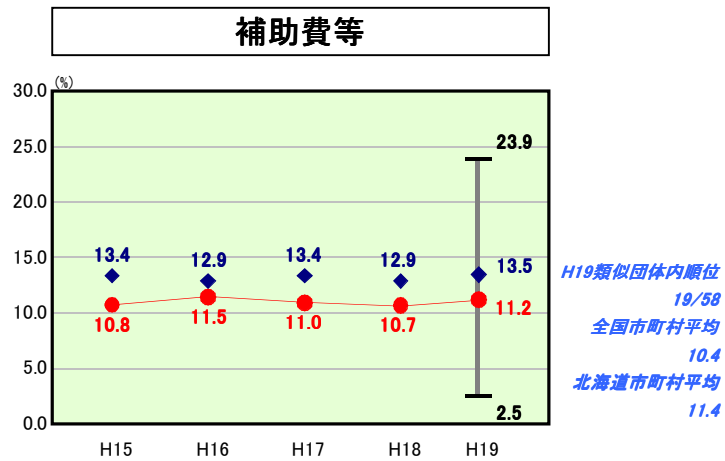
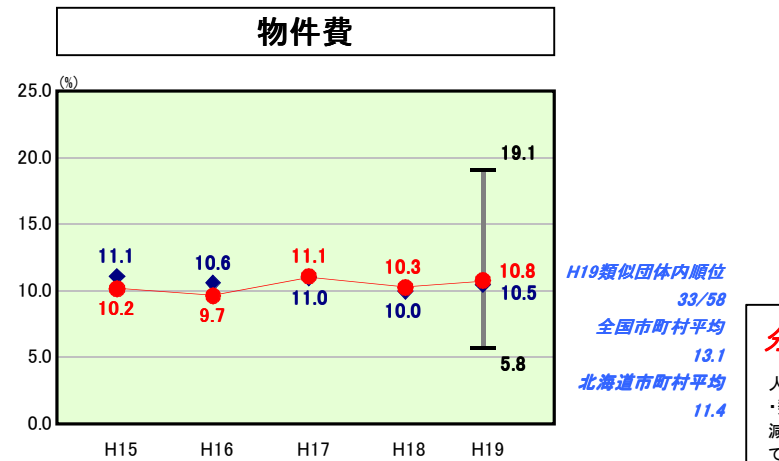
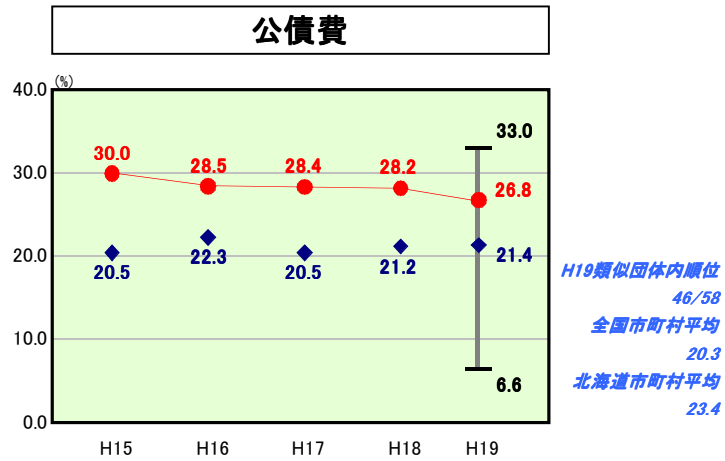
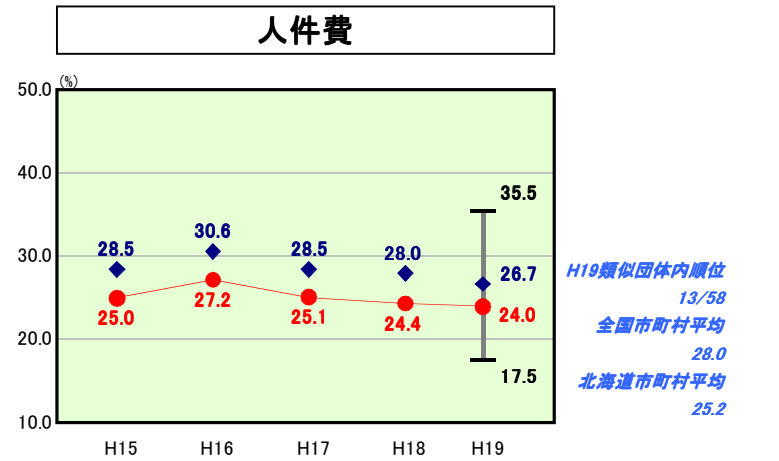
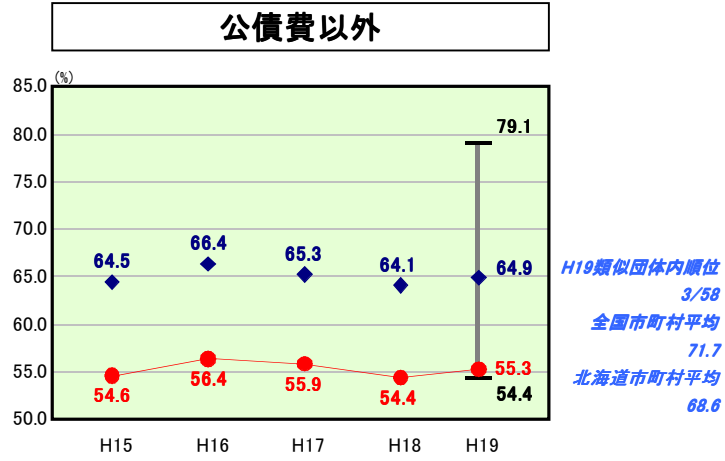
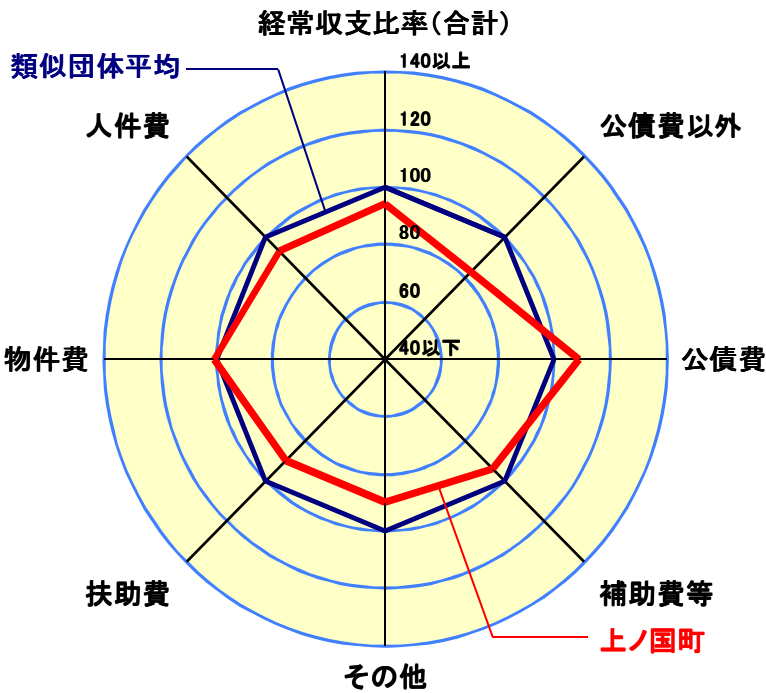
歳出比較分析表(平成19年度普通会計決算)

北海道 上ノ国町

経常収支比率の分析



|      |                        |
|------|------------------------|
| 人 口  | 6,379 人(H20.3.31現在)    |
| 面 積  | 547.58 km <sup>2</sup> |
| 歳入総額 | 3,822,266 千円           |
| 歳出総額 | 3,737,483 千円           |



- ※ 1 本レーダーチャートは、当該団体と類似団体平均値より算出した偏差値をもとにチャート化したものである。(偏差値は平均を100としている。)
- 2 当該団体の八角形が平均値の八角形より内側にあるほど、歳出抑制等により財政構造に弾力性があることを示している。
- 3 類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

分析欄

人件費  
・類似団体平均と比較すると、人件費にかかる経常収支比率は24.0%と低くなっている。要因として人件費の5%独自削減、期末勤労手当加算額の全額凍結、退職者不補充等であるが、人口1人当たりの歳出決算額は類似団体平均を上回っており、今後も「集中改革プラン」に沿って人件費関係経費全体についての削減に努める。

物件費  
・物件費にかかる経常収支比率は、類似団体平均と比較すると0.3%低く、全国市町村平均、全道市町村平均よりも下回っているが、更なるコスト削減に努める。

扶助費  
・類似団体平均、全国市町村平均、全道市町村平均を下回ってはいるが、上昇傾向にあるので財政を圧迫することのないよう財政運営に努める。

公債費  
・平成9年～平成13年にかけて実施した義務教育施設整備事業、公営住宅建設事業、道負担金事業等大型事業の影響で、地方債の元利償還金が膨らんでおり、公債費にかかる経常収支比率は類似団体平均を5.4%上回っているが、償還のピークは既に経過しており今後は地方債の新規発行を伴う普通建設事業を抑制した財政運営に努める。

・公営企業債の元利償還金に対する繰上額などの準元利償還金を含めたベースでは、人口1人当たり決算額が類似団体平均を33.5%上回っている。これは、平成15年3月31日許用開始の特定環境保全公共下水道事業等の償還によるものであり、今後も歳入確保のため下水道等の加入促進に努める。

補助費等  
・補助費等に係る経常収支比率は全国市町村平均よりも高いが、類似団体平均、全道市町村平均よりも下回っている。今後も、「集中改革プラン」に沿って毎年5%～10%の削減、見直しをするよう努める。

普通建設事業費  
・普通建設事業費の人口1人当たり決算額が類似団体平均より減少した要因として、「集中改革プラン」に沿った歳出削減への取り組みについての結果であり、過去5年間を平均すると事業費が7.8%削減され、今後も税収の増加が見込めない

